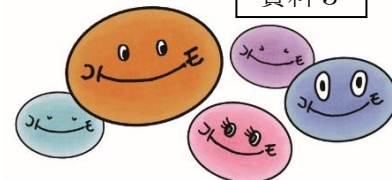


アンケート結果

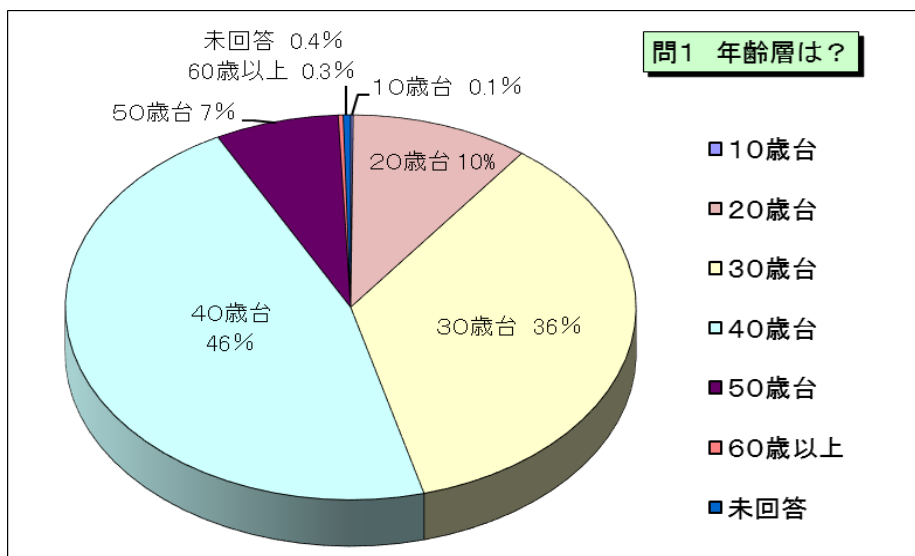


回答者数 713人 対象者数 (現況届者数) 1,124人 回答率 63.4%

問1 あなたの年齢層は？

1	10歳台	1	0.1%
2	20歳台	72	10.1%
3	30歳台	254	35.6%
4	40歳台	331	46.4%
5	50歳台	50	7.0%
6	60歳以上	2	0.3%
7	未回答	3	0.4%
合計		713	100.0%

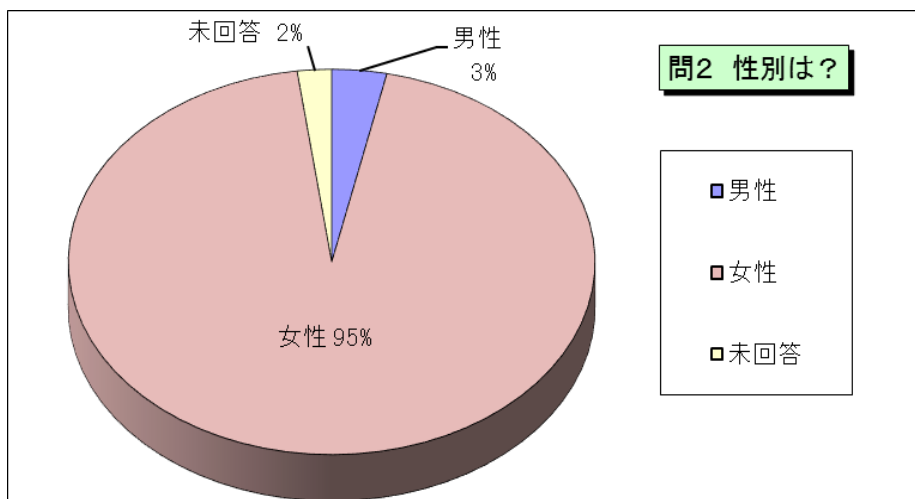
*30歳台、40歳台の親が82%を占める。



問2 あなたの性別は？

1	男性	24	3.4%
2	女性	674	94.5%
3	未回答	15	2.1%
合計		713	100.0%

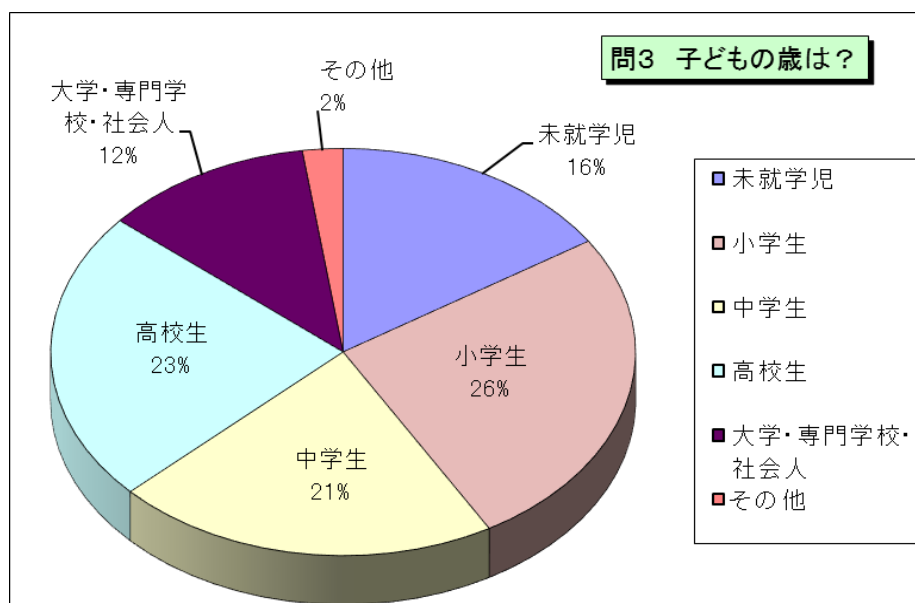
*受給資格を持つひとり親で、子を監護するのは95%が女性(母)である。



問3 お子さん(18歳以上含む)の歳は？ (複数回答可)

1	未就学児	198	15.8%
2	小学生	323	25.8%
4	中学生	266	21.3%
5	高校生	290	23.2%
6	大学・専門学校・社会人	145	11.6%
7	その他	28	2.2%
合計		1250	100.0%

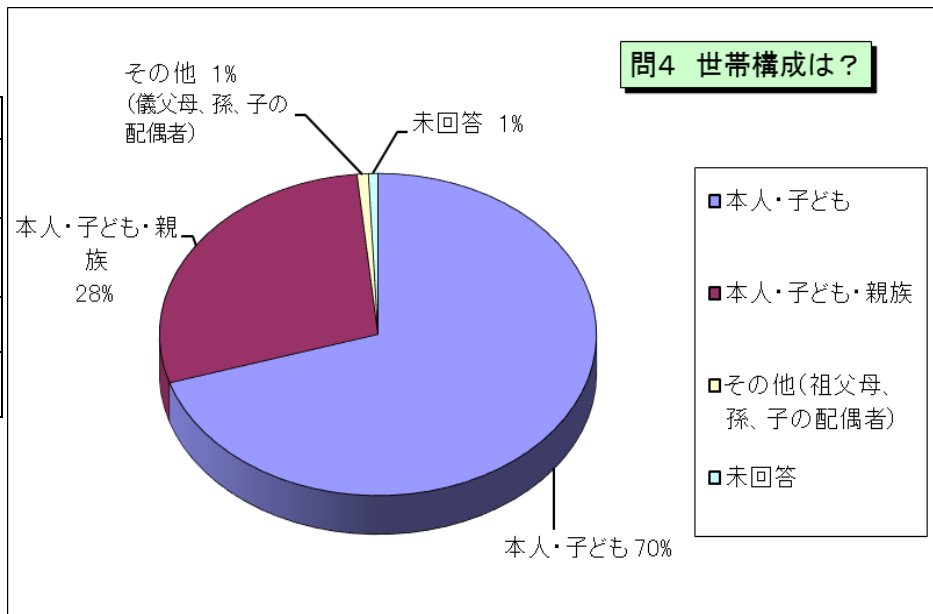
*監護する子は未就学児16%で、就学期(小学校~高校)が全体の70%を占める。



問4 世帯構成は？

1	本人・子ども	500	70.1%
2	本人・子ども・親族	202	28.3%
3	その他(祖父母、孫、子の配偶者)	6	0.8%
4	未回答	5	0.7%
合計		713	100.0%

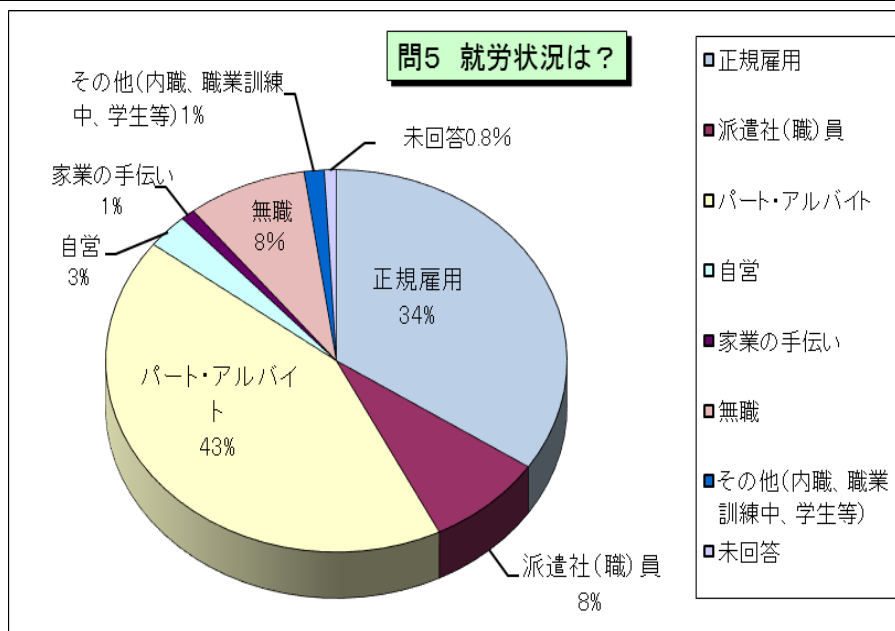
*70%の人が 親と子どものみの世帯である。28%が親子の他に親族がいる。



問5 あなたの就労状況は？

1	正規雇用	245	34.4%
2	派遣社(職)員	59	8.3%
3	パート・アルバイト	305	42.8%
4	自営	21	2.9%
5	家業の手伝い	7	1.0%
6	無職	60	8.4%
7	その他(内職、職業訓練中、学生等)	10	1.4%
8	未回答	6	0.8%
合計		713	100.0%

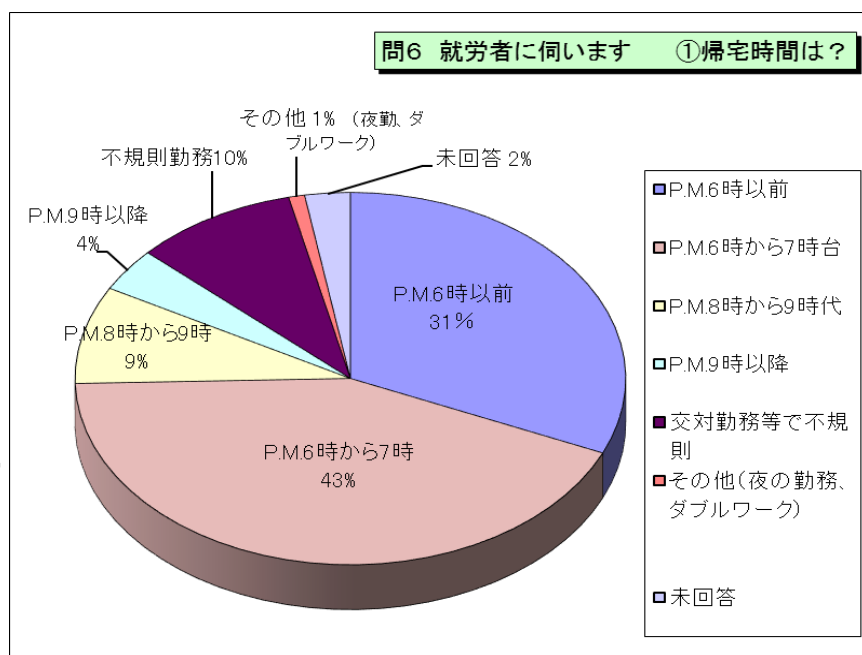
*89%の人は仕事をしている。正規雇用の方は34%で、非正規で就労している人は51%を超える。



問6 ①問5で「1～5 就労している方(637人)」の主な帰宅時間は？

1	P.M.6時以前	201	31.6%
2	P.M.6時から7時台	274	43.0%
3	P.M.8時から9時代	54	8.5%
4	P.M.9時以降	24	3.8%
5	交対勤務等で不規則	61	9.6%
6	その他(夜の勤務、ダブルワーク)	6	0.9%
7	未回答	17	2.7%
合計		637	100.0%

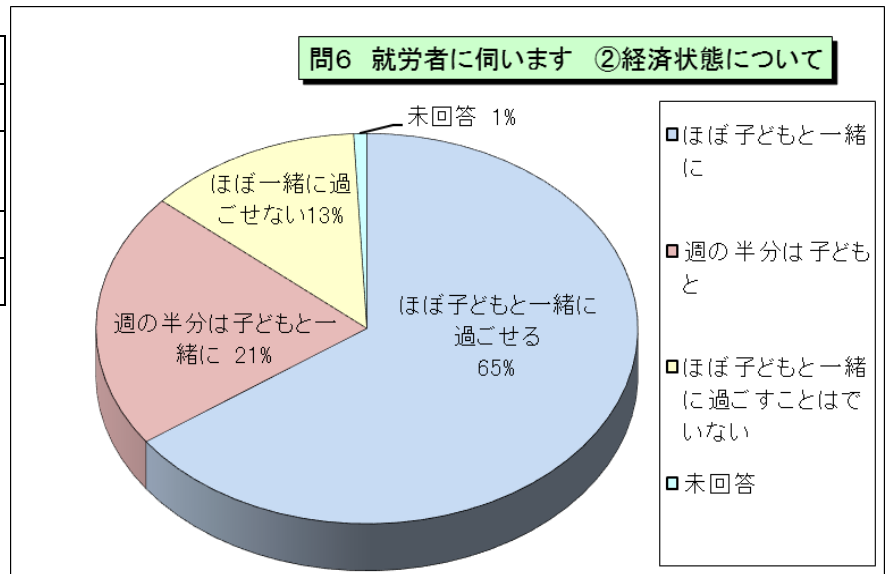
*夕方6時以前から子どもと過ごせる親は31%、夕方7時から、親子で過ごせる人は加えて43%、夜8時以降に帰宅の親は全体の22%にのぼる。



② 問5で「1～5 就労している方（637人）」1日のメイン食事は子どもと過ごせる？

1	ほぼ子どもと一緒に	415	65.1%
2	週の半分は子どもと	135	21.2%
3	ほぼ子どもと一緒に過ごすことはでない	82	12.9%
4	未回答	5	0.8%
合計		637	100.0%

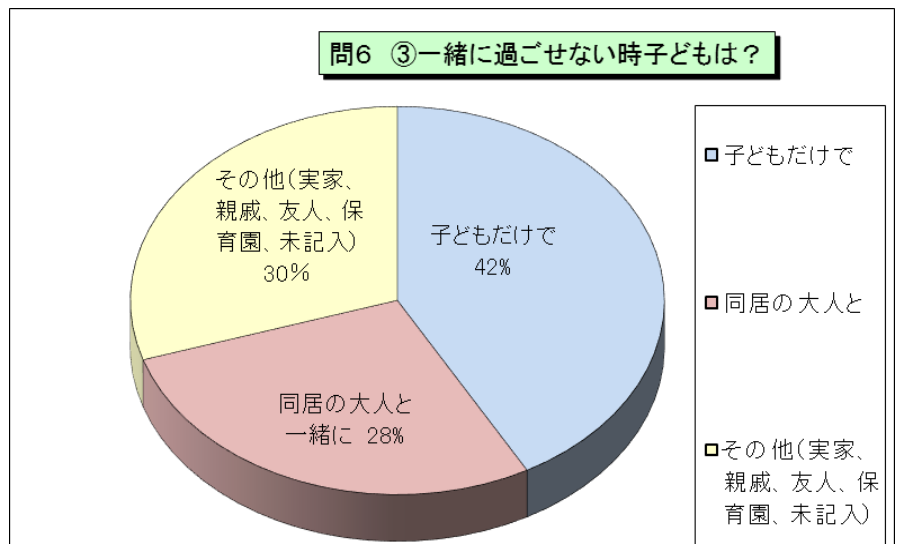
*一日のメインとなる食事を親子がほぼ一緒に過せているのは65%。週のうち半分は一緒に過ごせる人は21%、ほぼ一緒には過ごせない人は13%いる。週のうち半分以上、親子で食事を共にすることができない家庭は全体の34%存在する。



③ ②で「2～3」の方に伺います。一緒に過ごせないとき、子どもは？

1	子どもだけで	91	41.9%
2	同居の大人と	61	28.1%
3	その他(実家、親戚、友人、保育園、未記入)	65	30.0%
合計		217	100.0%

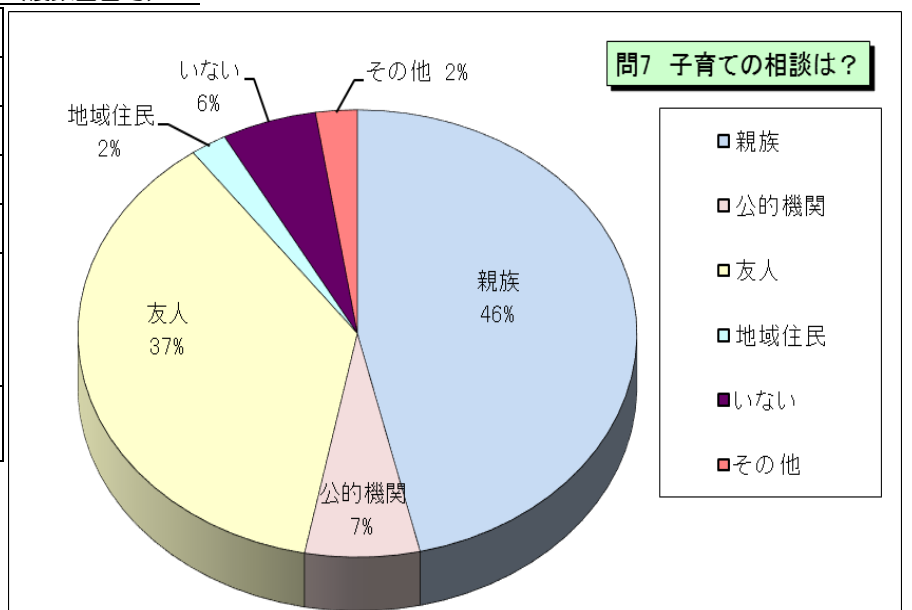
*週の半分以上、親子で食事を共にすることができない子どものうち、42%の家庭の子どもが孤食である。残り28%が同居親族と、30%が祖父母や親戚、友人や保育園等で過ごしている。



問7 子育てにおける相談者は？ (複数回答可)

1	親族	482	46.4%
2	公的機関	69	6.6%
3	友人	384	37.0%
4	地域住民	22	2.1%
5	いない	57	5.5%
6	その他(医者、職場の人、子の父、未記入)	25	2.4%
合計		1039	100.0%

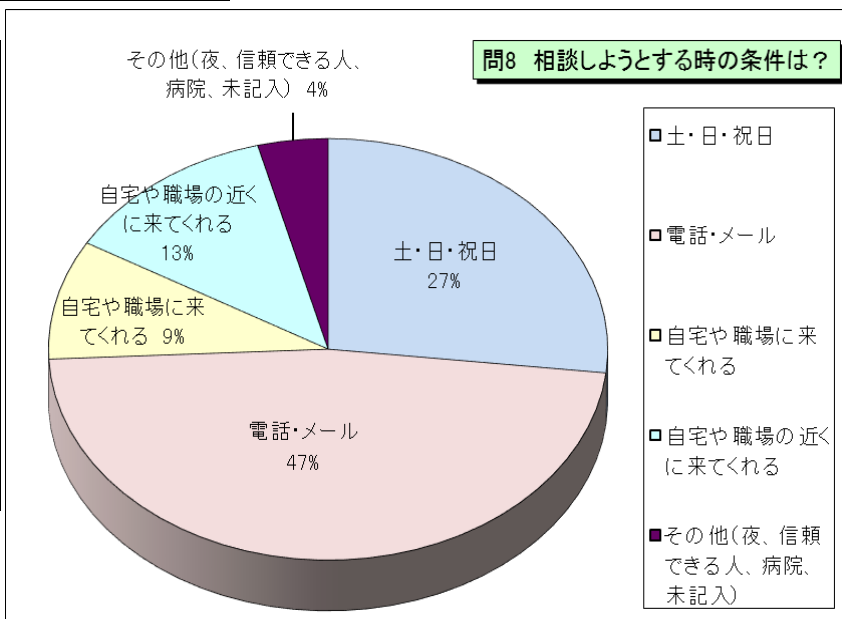
*相談者は親族が46%、友人や地域住民と身近な人が39%、公的機関は7%となっている。



問8 相談しようとする時の条件は？ (複数回答可)

1	土・日・祝日	231	26.8%
2	電話・メール	409	47.4%
3	自宅や職場に来てくれる	79	9.2%
4	自宅や職場の近くに来てくれる	108	12.5%
5	その他(夜、信頼できる人、病院、未記入)	35	4.1%
合計		862	100.0%

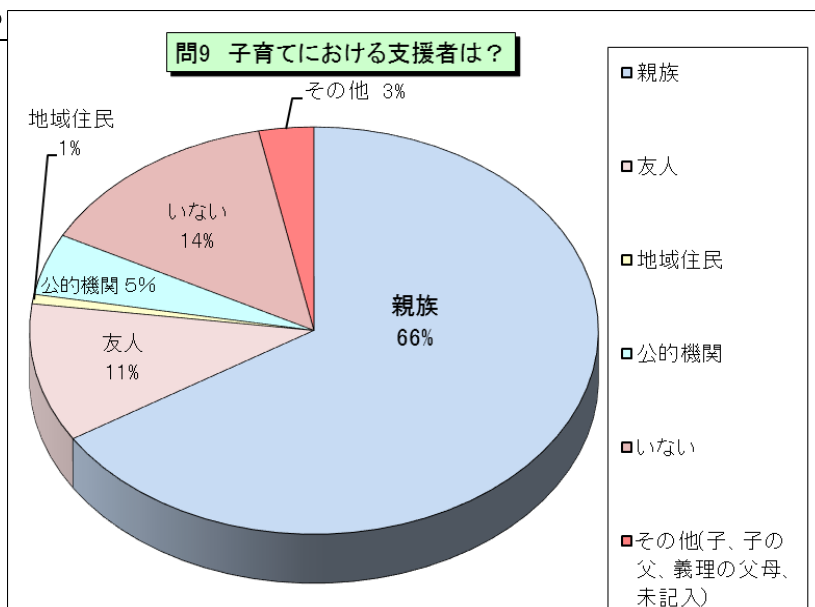
*土・日・祝日の希望が27%、電話・メールの希望が47%、自宅・職場やその近くの希望が22%である。



問9 あなたの子育てにおける支援者は？

1	親族	528	66.1%
2	友人	88	11.0%
3	地域住民	6	0.8%
4	公的機関	39	4.9%
5	いない	113	14.1%
6	その他(子、子の父、義理の父母、未記入)	25	3.1%
合計		799	100.0%

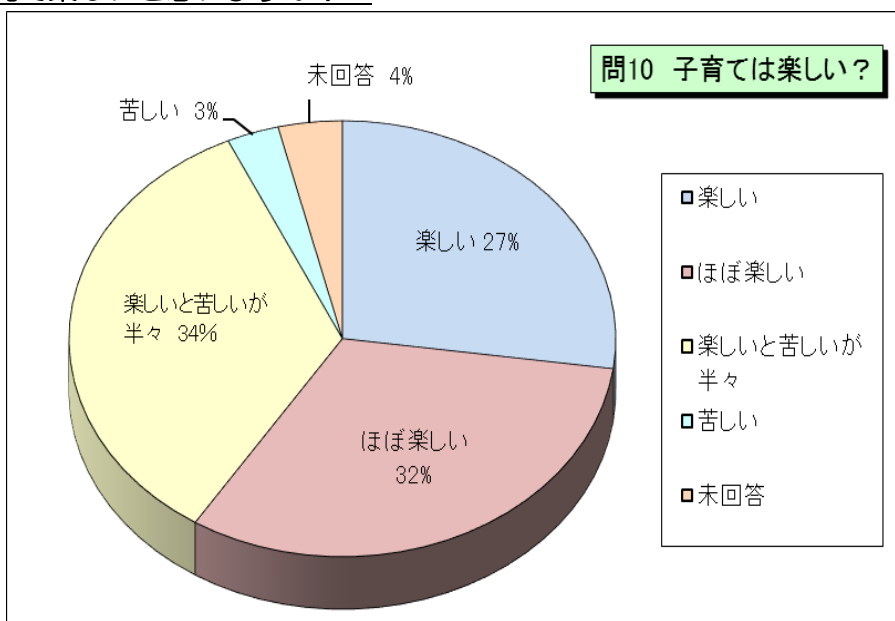
*支援者は親族が66%、友人・地域の人が12%、支援者がいない人は14%となっている。



問10 あなたは子育てを全般的に見て楽しいと思いますか？

1	楽しい	194	27.2%
2	ほぼ楽しい	227	31.8%
3	楽しいと苦しいが半々	243	34.1%
4	苦しい	22	3.1%
5	未回答	27	3.8%
合計		713	96.2%

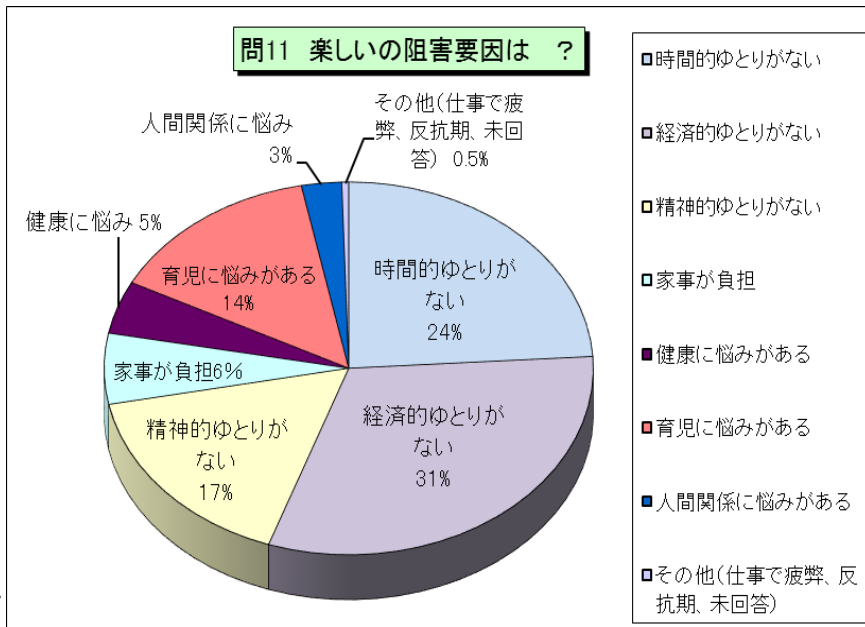
*子育てが楽しい人は27%、ほぼ楽しい人は32%、楽しいと苦しいが半々が34%、苦しいが3%となっており、楽しさと同じくらいそれ以上、苦しさを感じている人は全体の37%存在する。



問11 問10で「2~4の人(492人)」の方、楽しいを阻害する要因は？ (複数回答可)

1	時間的ゆとりがない	262	24.0%
2	経済的ゆとりがない	342	31.3%
3	精神的ゆとりがない	181	16.6%
4	家事が負担	67	6.1%
5	健康に悩みがある	50	4.6%
6	育児に悩みがある	156	14.3%
7	人間関係に悩みがある	29	2.7%
8	その他(仕事で疲弊、反抗期、未回答)	5	0.5%
合計		1092	100.0%

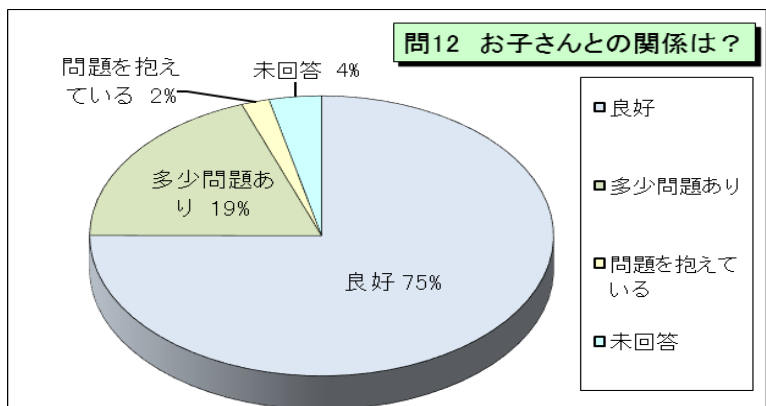
*子育てを楽しむ阻害要因は、経済が31%、時間的ゆとりがない24%、精神的ゆとりがない17%、育児の悩み14%、家事負担、健康、人間関係等と続く。



問12 あなたとお子さんとの関係性は？

1	良好	535	75.0%
2	多少問題あり	138	19.4%
3	問題を抱えている	14	2.0%
4	未回答	26	3.6%
合計		713	100.0%

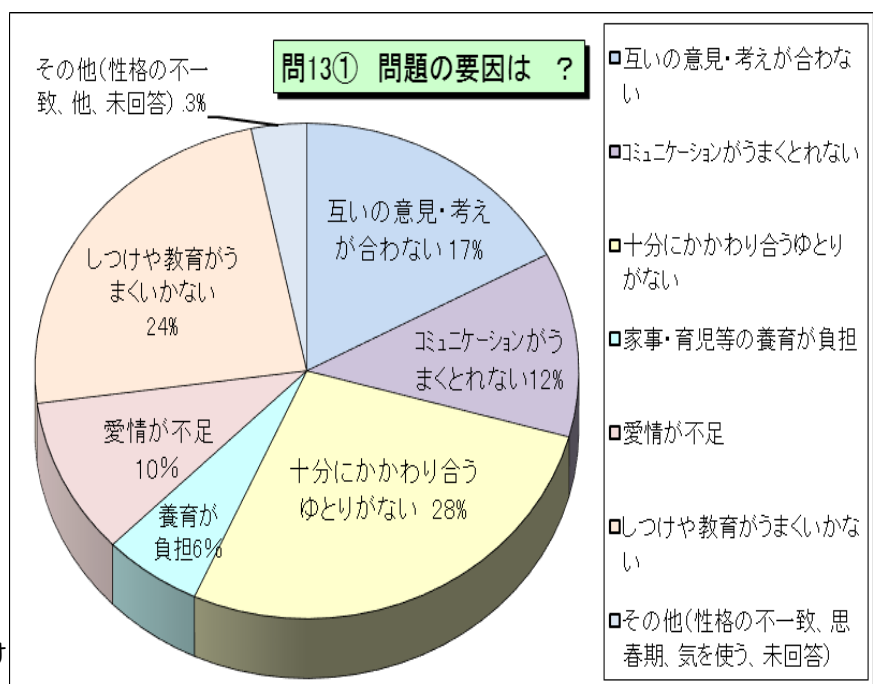
*子どもとの関係が良好な人は75%、多少問題がある、問題があるは21%となっている。



問13 ① 問12で「2~3の人(152人)」の方、問題となる要因は？ (複数回答可)

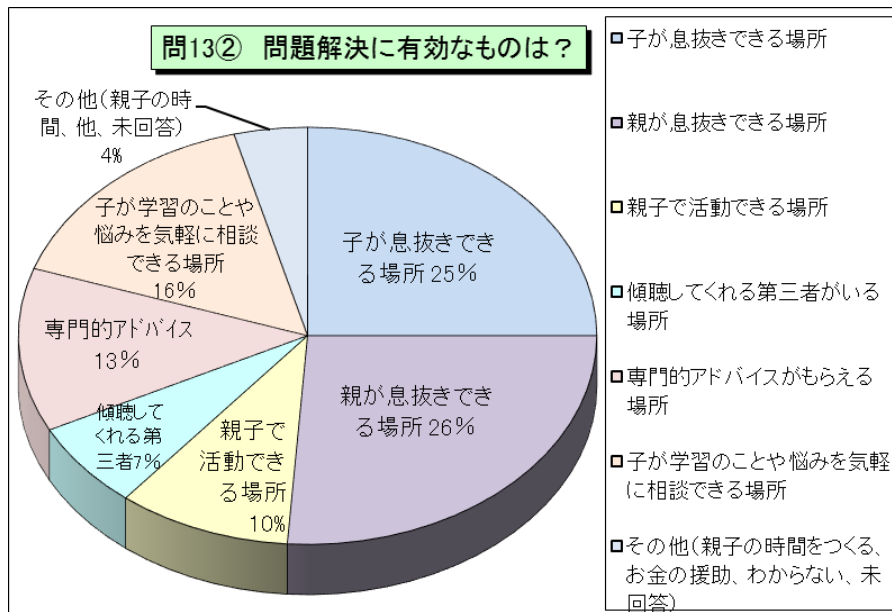
1	互いの意見・考えが合わない	47	17.2%
2	コミュニケーションがうまくとれない	33	12.1%
3	十分にかかわり合うゆとりがない	75	27.5%
4	家事・育児等の養育が負担	16	5.9%
5	愛情が不足	28	10.3%
6	しつけや教育がうまくいかない	65	23.8%
7	その他(性格の不一致、思春期、気を使う、未回答)	9	3.3%
合計		273	100.0%

*問題となる要因は、十分にかかわり合うゆとりがないが28%、続いてしつけや教育がうまくいかないが24%、互いの意見・考えが合わないが17%、コミュニケーションがうまくとれない12%、愛情不足10%と続いている。



② 問12で「2~3の人(152人)」の方、解決に利用すると有効と思うものは？(複数回答可)

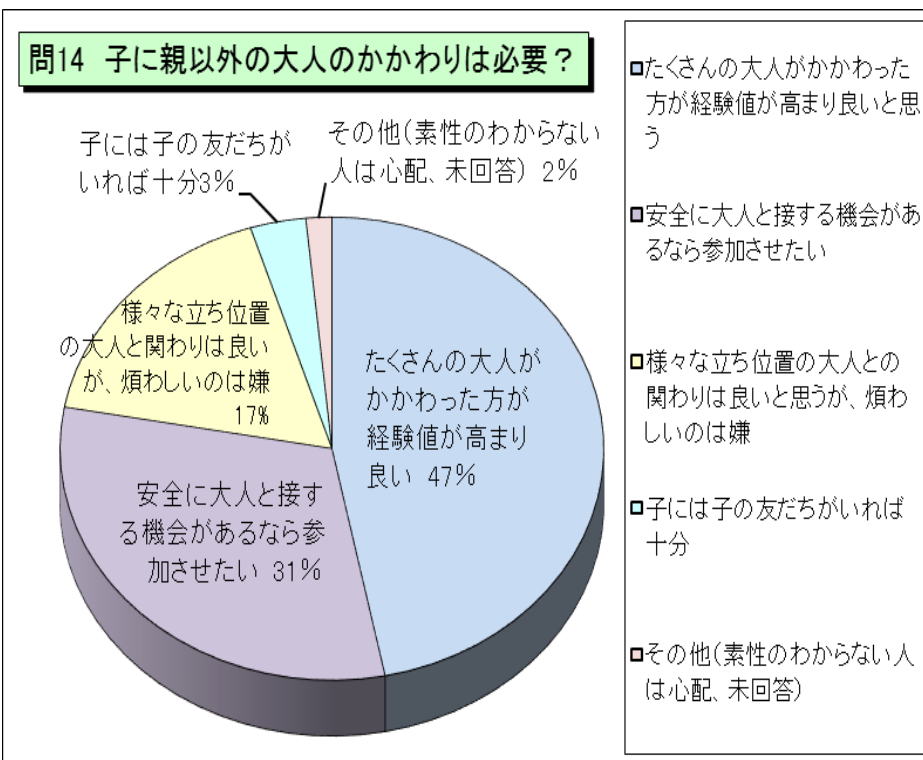
1	子が息抜きできる場所	67	25.0%
2	親が息抜きできる場所	70	26.1%
3	親子で活動できる場所	26	9.7%
4	傾聴してくれる第三者がいる場所	18	6.7%
5	専門的アドバイスがもらえる場所	34	12.7%
6	子が学習のことや悩みを気軽に相談できる場所	42	15.7%
7	その他(親子の時間をつくる、お金の援助、わからない、未回答)	11	4.1%
合計		268	100.0%



*問題解決に有効なものとして、子が息抜きできる場所、子が学習や悩みを気軽に相談できる場所と考える人が全体の41%いる。親が息抜きできる場所も26%に求められている。

問14 子が親ではない大人(地域のおじさん、おばさん、大学生等)と触れ合うことについてどのように考えますか (複数回答可)

1	たくさんのかかわった方が、経験値が高まり良いと思う	396	46.9%
2	安全に大人と接する機会があるなら参加させたい	262	31.0%
3	様々な立ち位置の大人との関わりは良いと思うが、煩わしいのは嫌	146	17.3%
4	子には子の友だちがいれば十分	28	3.3%
5	その他(素性のわからない人は心配、未回答)	13	1.5%
合計		845	100.0%

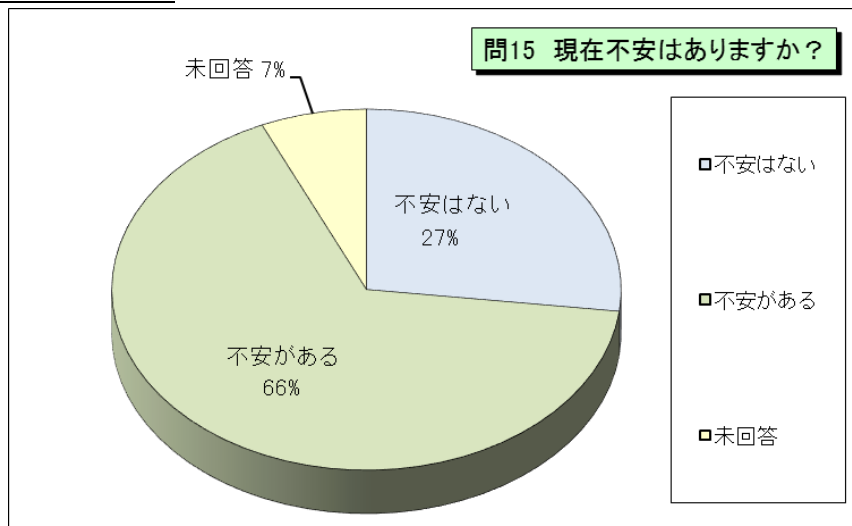


*子どもが親以外の大人(地域のおじさん、おばさん、大学生等)との交流することについて、親自身は「たくさんかかわった方が子どものために良い」「安全なら関わらせたい」と95%の人が考えている。その反面、大人との関わりが良いことであるとは思うものの、親自身が煩わしいのは嫌と感じているのが全体の17%存在する。また、子どもは子どもとだけかかわっていれば十分と考える人は3%存在する。

問 15 現在の生活で不安に感じていることは？

1	不安はない	192	26.9%
2	不安がある	473	66.3%
4	未回答	48	6.7%
合計		713	100.0%

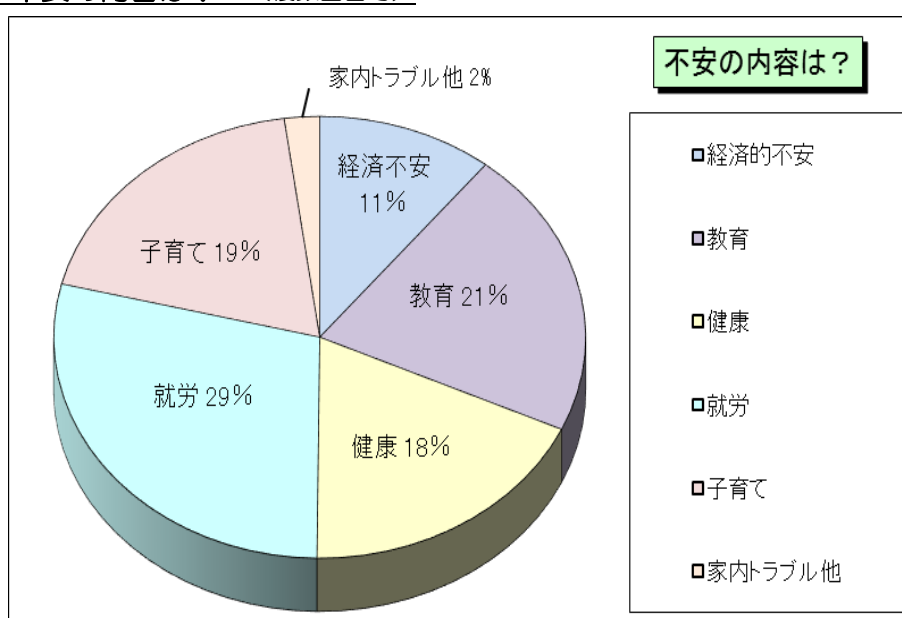
*現在の生活において、不安を抱え生活している人は、全体の66%存在する。不安がない人は27%存在する。



「不安のある人 (473人)」の方、不安の内容は？ (複数回答可)

1	経済的不安	65	10.7%
2	教育	128	21.1%
3	健康	111	18.3%
4	就労	174	28.7%
5	子育て	115	19.0%
6	家内トラブル他	13	2.1%
合計		606	100.0%

*不安の内容は、就労29%、教育が21%、子育てが19%、健康18%、経済不安11%である。



まとめ

アンケート回収率が63.4%と高く、ひとり親家庭の親の声として非常に参考になる資料といえる。

子育てと家計をひとりで担い、葛藤しながら生活する親の姿が窺える。回答者の監護する子は、未就学児が16%、就学児（小学校～高校）が70%を占め、子が18歳を迎え社会へと巣立つ準備期であることから、日々、子育ての喜びと同時に、多くの不安や悩みを抱えて過ごしていることがわかる結果になっている。

就労している者は、子どもと一緒に過ごす時間を切り詰めて収入を得ており、雇用形態も正規雇用が34%にとどまっている。親子が一週間のうちで半分以上「一日のメインの食事」が一緒に過ごせない家庭が34%あり、そのうち42%が子どもだけの孤食となっている。また、親族や身近な人等の子育ての支援が全く得られない人が14%存在し、また、子育ての相談先を全く持たない人も6%存在している。

子育てがほぼ楽しいと言い切れる人は59%で、楽しさと同時にその半分以上苦しさを感じている人は37%存在し、うち子育てに苦しみのみ感じているという人が3%存在した。その原因は、経済的・時間的・精神的の順でゆとりのなさから生じているものと72%の人が答えている。親子関係に多少なりとも問題が生じていると認識している親、また問題を抱えていると感じている親は21%存在し、この原因は、親子が十分にかかわり合うゆとりがないことやコミュニケーションの問題から生じていると40%の親が感じている。問題解決に向けては「子どもが息抜きできる場所」と「子ども自身が気軽に学習のことや悩みを相談できる場所」が必要と答えた親が41%で、「親が息抜きできる場所」を求める声は26%

存在した。

また、子どもの成長においては、親以外の様々な大人がかかわることが良いと考えている人は95%にのぼる。その反面、親がその煩わしさに巻込まれることが嫌と感じている人が17%存在している。

今後の生活に不安を感じている人は、66%存在し、その不安は、就労（仕事）、教育、子育て、健康、経済の順で多く、その不安な胸の内が垣間見られる結果となった。

○ 児童扶養手当受給資格者へのアンケート調査 概要

- 1 彦根市に居住する児童扶養手当受給資格者の現況届の際に実施。
受給資格者とは：監護する子が、0歳から18歳（18歳の年度末）、子が特別児童扶養手当を受給する場合は子の20歳の誕生日月までの者で、児童扶養手当法で定める支給要件を満たすひとり親家庭等の者
- 2 平成28年度現況届の対象者（アンケート用紙送付対象者） 1,124人へ郵送
- 3 回収方法 児童扶養手当現況届に来所の際、アンケート回収BOXへ投函
- 4 アンケート回収期間 平成28年8月1日～8月31日
- 5 回答者数 713人（回答率63.4%）